

(仮称)木曾川右岸道路（南部ルート）

環境影響評価方法書

平成15年3月

長野県
上松町
南木曾町
大桑村

- 目 次 -

第 1 章 事業計画の概要

1. 事業名称	1-1
2. 事業者の氏名、住所	1-1
3. 事業の種類	1-1
4. 事業の目的	1-2
5. 事業の内容	1-3

第 2 章 地域の概況

1. 社会的状況	2-1
1.1 人口及び産業の状況	2-1
1.1.1 人口の状況	2-1
1.1.2 産業の状況	2-2
1.2 交通の状況	2-4
1.2.1 交通網の状況	2-4
1.2.2 交通量の状況	2-6
1.2.3 事故及び通行止めの発生状況	2-8
1.3 土地利用の状況	2-9
1.3.1 土地利用の状況	2-9
1.3.2 国土利用計画法に基づく土地利用基本計画の決定状況	2-11
1.4 環境保全における配慮が必要な施設状況	2-17
1.4.1 教育施設等	2-19
1.4.2 医療施設等	2-21
1.4.3 社会福祉施設等	2-23
1.4.4 住宅・集落等の概況	2-25
1.4.5 将来の建物立地状況	2-25
1.5 水域の利用状況	2-26
1.5.1 河川、湖沼及び地下水の利用状況	2-26
1.5.2 水面利用の状況	2-30
1.6 環境整備の状況	2-32
1.6.1 上水道の整備状況	2-32
1.6.2 下水道の整備状況	2-33
1.6.3 廃棄物処理の状況	2-34
1.6.4 公害の苦情の状況	2-39

1.7 法令による指定及び規制等の状況	2-40
1.7.1 大気汚染防止法による規制地域の状況	2-40
1.7.2 自動車から排出される窒素酸化物の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法に係る特定地域の状況	2-40
1.7.3 幹線道路の沿道の整備に関する法律に係る沿道整備道路の状況	2-40
1.7.4 自然公園法等に基づく国立公園、国定公園及び都道府県立自然公園区域	2-40
1.7.5 自然環境保全法等に基づく原生自然環境保全地域、自然環境保全地域及び都道府県自然環境保全地域	2-42
1.7.6 世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約に基づく文化遺産、自然遺産の区域	2-42
1.7.7 都市緑地保全法に基づく都市緑地保全地区の地域	2-42
1.7.8 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律に基づく生息地等保護区の区域	2-42
1.7.9 鳥獣保護及狩猟ニ関スル法律に基づく鳥獣保護区等の区域	2-44
1.7.10 特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約に基づく湿地	2-44
1.7.11 文化財保護法等に基づく重要文化財、重要伝統的建造物群保存地区、史跡名勝天然記念物等の指定状況及び埋蔵文化財包蔵地の分布状況	2-46
1.7.12 都市計画法に基づく風致地区の区域	2-50
1.7.13 都市計画法に基づく用途地域の指定状況	2-50
1.7.14 環境基本法に基づく環境基準の種類の指定状況	2-52
1.7.15 環境基本法に基づく公害防止計画の策定状況	2-65
1.7.16 騒音規制法に基づく自動車騒音の限度及び指定地域の状況	2-65
1.7.17 騒音規制法に基づく特定建設作業に伴って発生する騒音の規制基準の状況	2-66
1.7.18 振動規制法に基づく道路交通振動の限度及び指定地域の状況	2-67
1.7.19 振動規制法に基づく特定建設作業に伴って発生する振動の規制基準の状況	2-68
1.7.20 水質汚濁防止法第4条の2第1項の規定により指定された地域	2-68
1.7.21 湖沼水質保全特別措置法第3条第1項及び第2項の規定により指定された湖沼及び地域	2-68
1.7.22 水質汚濁防止法に基づく排水基準の内容	2-69
1.7.23 水質汚濁防止法に基づく上乗せ排水基準の指定地域	2-71
1.7.24 悪臭防止法に基づく規制基準及び指定地域の状況	2-73
1.7.25 森林法に基づく保安林	2-74
1.7.26 砂防法に基づく砂防指定地の指定状況	2-76
1.7.27 急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律に基づく急傾斜地崩壊危険区域の指定状況	2-78
1.7.28 地すべり防止法に基づく地すべり防止区域の指定状況	2-78
1.7.29 その他の事項の状況	2-80
1.7.30 その他(主要な事業計画)	2-85

2. 自然的状況	2-87
2.1 気象の状況	2-87
2.2 水象の状況	2-90
2.2.1 河川、湖沼の状況	2-90
2.3 地象の状況	2-92
2.3.1 地形の状況	2-92
2.3.2 地質の状況	2-94
2.3.3 注目すべき地形・地質の状況	2-96
2.3.4 土壌の状況	2-98
2.3.5 災害履歴の状況	2-100
2.3.6 地形・地質保全上の留意点	2-100
2.4 動植物の状況	2-101
2.4.1 植物の状況	2-101
2.4.2 動物の状況	2-112
2.4.3 生態系の状況	2-120
2.5 景観・文化財の状況	2-131
2.5.1 景観の状況	2-131
2.5.2 史跡・文化財の状況	2-136
2.6 触れ合いの活動の場の状況	2-137
2.7 大気質・水質等の状況	2-141
2.7.1 大気質の状況	2-141
2.7.2 騒音の状況	2-146
2.7.3 振動の状況	2-148
2.7.4 低周波音の状況	2-148
2.7.5 悪臭の状況	2-149
2.7.6 水質の状況	2-150
2.7.7 土壌汚染の状況	2-154
2.7.8 地盤沈下の状況	2-154

第3章 対象道路事業に係る環境影響評価の項目 並びに調査、予測及び評価の手法

1. 環境影響評価の項目の選定	3-1
2. 選定した項目における調査、予測及び評価の手法並びにその理由	3-5

- 図及び表の目次 -

第1章 事業計画の概要

図 番

図 1.5.1	地域の概要図	1-4
図 1.5.2	調査区域図	1-5
図 1.5.3	標準横断面図	1-7

表 番

表 1.5.1	対象道路事業実施区域が存する市町村名（調査対象地域）	1-3
表 1.5.2	木曾川右岸道路の道路区分の想定理由	1-6

第2章 地域の概況

1. 社会的状況

図 番

図 2.1.1	人口の経年変化	2-1
図 2.1.2	交通網図	2-5
図 2.1.3	交通量観測地点位置図	2-7
図 2.1.4	土地利用図	2-10
図 2.1.5(1)	土地利用基本計画図(都市地域)	2-12
図 2.1.5(2)	土地利用基本計画図(農業地域)	2-13
図 2.1.5(3)	土地利用基本計画図(森林地域)	2-14
図 2.1.5(4)	土地利用基本計画図(自然公園地域)	2-15
図 2.1.5(5)	土地利用基本計画図(自然保全地域)	2-16
図 2.1.6	環境上配慮すべき施設位置図(総括)	2-18
図 2.1.7	教育施設等位置図	2-20
図 2.1.8	医療施設等位置図	2-22
図 2.1.9	社会福祉施設等位置図	2-24
図 2.1.10	取水源位置図	2-29
図 2.1.11	漁業権の設定状況図	2-31
図 2.1.12	廃棄物処理施設位置図	2-38
図 2.1.13	自然公園区域図	2-41
図 2.1.14	自然環境保全地域・郷土環境保全地域の区域図	2-43
図 2.1.15	鳥獣保護区等位置図	2-45
図 2.1.16	史跡・文化財の状況	2-49
図 2.1.17	用途地域図	2-51
図 2.1.18	水質汚濁に係る環境基準の指定水域図	2-60
図 2.1.19	保安林の状況	2-75
図 2.1.20	砂防指定地、急傾斜地崩壊危険区域及び地すべり防止区域位置図	2-79

図 2.1.21	環境基本条例の体系	2-80
図 2.1.22	環境基本計画の体系	2-81
図 2.1.23	水道水源保全地区位置図	2-84
図 2.1.24	主要な事業計画位置図	2-86

表 番

表 2.1.1	人口の状況	2-1
表 2.1.2	産業別就業人口	2-2
表 2.1.3	産業大分類別就業人口	2-3
表 2.1.4	交通量の状況	2-6
表 2.1.5	国道 19 号における交通事故発生状況	2-8
表 2.1.6	平成 13 年長野県内の路線別通行止め件数（平成 13 年 1 月～12 月）	2-8
表 2.1.7	土地利用の状況	2-9
表 2.1.8	環境上配慮すべき施設（総括）	2-17
表 2.1.9	環境上配慮すべき施設（教育施設等）	2-19
表 2.1.10	環境上配慮すべき施設（医療施設等）	2-21
表 2.1.11	環境上配慮すべき施設（社会福祉施設等）	2-23
表 2.1.12	利水の状況	2-26
表 2.1.13	取水源種別表	2-27
表 2.1.14	漁獲の状況	2-30
表 2.1.15	上水道の整備状況	2-32
表 2.1.16	公共下水道の状況	2-33
表 2.1.17	廃棄物処理施設の状況	2-37
表 2.1.18(1)	一般廃棄物（最終処分場）の状況	2-37
表 2.1.18(2)	一般廃棄物（処理施設）の状況	2-37
表 2.1.19	公害の苦情件数	2-39
表 2.1.20	自然公園の状況	2-40
表 2.1.21	自然環境保全地域・郷土環境保全地域の状況	2-42
表 2.1.22	鳥獣保護区及び特別保護地区等の状況	2-44
表 2.1.23	調査区域の史跡・文化財等	2-46
表 2.1.24	地域を定めず指定された天然記念物	2-48
表 2.1.25	用途地域の指定状況	2-50
表 2.1.26	都市計画公園の状況	2-50
表 2.1.27	大気汚染に係る環境基準について	2-54
表 2.1.28	水質汚濁に係る環境基準（生活環境の保全に関する環境基準）の類型指定水域	2-55
表 2.1.29	水質汚濁に係る環境基準について	2-56
表 2.1.30	地下水の水質汚濁に係る環境基準について	2-59
表 2.1.31	土壌汚染に係る環境基準について	2-62
表 2.1.32	騒音に係る環境基準について	2-64
表 2.1.33	自動車騒音の限度	2-65
表 2.1.34	特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準	2-66

表 2.1.35	道路交通振動の限度	2-67
表 2.1.36	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準	2-68
表 2.1.37	排水基準	2-69
表 2.1.38	上乘せ排水基準	2-71
表 2.1.39	悪臭に係る規制基準	2-73
表 2.1.40	砂防指定地の指定状況	2-77
表 2.1.41	急傾斜地崩壊危険区域の指定状況	2-78
表 2.1.42	長野県景観条例の概要	2-82
表 2.1.43	水道水源保全地区の状況	2-83
表 2.1.44	主要な事業計画	2-85

2. 自然的状況

図 番

図 2.2.1	長野県の気候区分	2-87
図 2.2.2	南木曾気象観測所の準平年値	2-88
図 2.2.3	気象観測所位置図	2-89
図 2.2.4	木曾川水系図	2-90
図 2.2.5	河川・湖沼位置図	2-91
図 2.2.6	地形分類図	2-93
図 2.2.7	表層地質の状況	2-95
図 2.2.8	注目すべき地形・地質	2-97
図 2.2.9	土壌図	2-99
図 2.2.10	現存植生図	2-102
図 2.2.11	注目すべき植物	2-105
図 2.2.12	注目すべき動物	2-119
図 2.2.13	自然環境の類型区分図	2-123
図 2.2.14	生態系と生物群集の分布模式図	2-127
図 2.2.15	食物網の模式図	2-129
図 2.2.16	主要な景観資源	2-133
図 2.2.17	主要な眺望景観	2-135
図 2.2.18	人と自然との触れ合いの活動の場	2-140
図 2.2.19	大気質測定局の位置	2-145
図 2.2.20	水質・底質の測定地点	2-153

表 番

表 2.2.1	気象概況	2-88
表 2.2.2	調査区域の一級河川	2-90
表 2.2.3	注目すべき地形・地質	2-96
表 2.2.4	調査区域の注目すべき植物の生育地	2-103
表 2.2.5	調査対象地域の注目すべき植物種	2-106

表 2.2.6	調査対象地域の注目すべき哺乳類	2-112
表 2.2.7	調査対象地域の注目すべき鳥類	2-113
表 2.2.8	調査対象地域での猛禽類調査結果	2-114
表 2.2.9	調査対象地域の注目すべき昆虫類	2-116
表 2.2.10	調査対象地域の注目すべき魚類	2-117
表 2.2.11	調査区域の注目すべき動物の生息地	2-118
表 2.2.12	生態系に係る地域の自然特性のまとめ	2-120
表 2.2.13	生態系に係る植生区分のまとめ	2-122
表 2.2.14	自然環境の類型区分と生息・生育が想定される動植物	2-125
表 2.2.15	生態系に係る動植物等のまとめ	2-126
表 2.2.16	地域を特徴付ける生態系毎に抽出した注目種等	2-128
表 2.2.17	主要な景観資源	2-132
表 2.2.18	主要な眺望景観	2-134
表 2.2.19	人と自然との触れ合いの活動の場の状況	2-137
表 2.2.20	大気質の測定結果(常監局)	2-142
表 2.2.21	大気質の測定結果(自排局)	2-143
表 2.2.22	騒音の測定結果(平成10年)	2-146
表 2.2.23	河川の水質測定結果(平成13年度)	2-150
表 2.2.24	河川の水質測定結果(木曾川水域の経年変化)	2-150
表 2.2.25	地下水質測定結果表	2-151
表 2.2.26	主要河川における底質中重金属の調査結果(木曾川水系)	2-152

第3章 対象道路事業に係る環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法

図 番

図 3.2.1	大気質調査地点位置図	3-7
図 3.2.2	騒音・振動調査地点位置図(建設機械の稼働)	3-9
図 3.2.3	騒音・振動調査地点位置図(工事用車両の運行)	3-11
図 3.2.4	低周波音調査地点位置図(工事による影響)	3-17
図 3.2.5	低周波音調査地点位置図(存在・供用による影響)	3-19
図 3.2.6	日照障害調査地点位置図	3-21
図 3.2.7	悪臭現地調査基本ルート図	3-23
図 3.2.8	水質現地調査地点位置図	3-26
図 3.2.9	地形・地質調査地点位置図	3-30
図 3.2.10	植物調査地点位置図	3-32
図 3.2.11	哺乳類調査地点位置図	3-35
図 3.2.12	鳥類調査地点位置図	3-37
図 3.2.13	両生・は虫類調査地点位置図	3-38
図 3.2.14	魚類・底生生物調査地点位置図	3-40
図 3.2.15	昆虫類調査地点位置図	3-42
図 3.2.16	猛禽類調査地点位置図	3-44

図 3.2.17	主要な景観資源調査地点位置図	3-47
図 3.2.18	主要な眺望景観調査地点位置図	3-48
図 3.2.19	触れ合いの活動の場調査地点位置図	3-50
図 3.2.20	史跡・文化財調査地点位置図	3-52

表 番

表 3.1.1	環境影響評価の選定項目	3-2
表 3.1.2	環境影響評価の選定環境要素	3-3
表 3.2.3	調査項目及び調査・予測手法一覧	3-6

本書に掲載した地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図、20万分の1土地利用図及び5万分の1地形図を複製したものである。

(承認番号 平14総複 第401号)